

令和4年度 大阪府資金保管・運用実績

本府では、引き続き厳しい財政状況の中、公金の安全性を確保しつつ、より有利な運用を行うため、「大阪府資金保管・運用方針」に基づき、効率的な管理に取り組んでいます。

令和4年度の保管・運用実績は以下のとおりです。

■保管・運用の状況

- 市場金利は、平成28年から続く日本銀行の金融政策の影響により、低位で推移してきたが、令和4年初め頃より、上昇傾向となった。
- 長期運用については、新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和2年度から停止していたが、状況が落ち着き始めたことで大型支出が減少し、運用可能な資金量を比較的に見通しやすくなったこと等を踏まえ、令和4年9月から再開。
- その結果、本府全体の資金運用額と運用利息の総額は、前年度に比べて増加。

主な保管・運用方法

- 当面の支払いに充てる必要のある資金等については、指定金融機関（公営企業会計は出納取扱金融機関）の当座預金等で保管。
- 運用可能な資金については、借入債務等との相殺により保全されている定期性預金又は国債等の元本の償還が確実な債券による運用を実施。

保管・運用実績(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

第23表

運用種別ごと1日あたりの平均残高及び年間利息

(各項下段()は令和5年3月31日現在高)

資金種別	運用種別			利息※2 平均利回り 万円	保管 (当座預金等) ※3 億円
	定期性預金 運用	債券 運用	計 億円		
歳計現金・ 歳入歳出外現金※1	679 (826)	1,186 (1,219)	1,866 (2,045)	23,047 0.124%	7,783 (14,452)
基金※4	0 (0)	72 (64)	72 (64)	6,810 0.940%	9 (9)
公営企業会計に 属する資金※5	151 (0)	30 (30)	181 (30)	380 0.021%	401 (593)
令和4年度	830 (826)	1,289 (1,313)	2,119 (2,139)	30,238 0.143%	8,192 (15,053)
対前年度比	193.9% (132.8%)	102.9% (105.7%)	126.1% (114.8%)	107.9% (85.6%)	176.6% (105.2%)
令和3年度	428 (622)	1,253 (1,242)	1,681 (1,864)	28,021 0.167%	4,639 (14,303)

(下段()は令和4年3月31日現在高)

- ※1 歳計現金とは一般会計及び特別会計に属する地方公共団体の歳入歳出に係る現金をいい、歳入歳出外現金とは契約保証金など歳入歳出予算として予算に計上されない現金のことをいう。また、歳計現金・歳入歳出外現金及び基金(※4を除く)は歳計現金で一括運用している。
- ※2 利息は期間中の受取額ではなく、4/1～3/31の期間中の運用利息を日割り計算して算出。
- ※3 当座預金等とは、支払い準備等に充てるため保管している当座預金、普通預金などの流動性預金。
- ※4 基金(公営企業会計に属する基金を除く)に属する現金を歳計現金で一括運用せずに運用しているものを表示(日本万国博覧会記念公園基金)。
- ※5 公営企業会計に属する基金を含む。
- ※6 運用・保管を合計した全資金の利回りは、令和4年度0.0293%(令和3年度0.0443%)。

〔 <参考> 令和5年3月末現在の都市銀行店頭表示金利(全国平均)
定期性預金(大口定期預金) 0.003%[1ヶ月]0.004%[3ヶ月]0.004%[1年] 〕